



青柳中だより

令和6年4月8日 第1号

草加市立青柳中学校 生徒数505名

学校教育目標 ○自ら考え実践する生徒 ○心豊かで思いやりのある生徒 ○健康でたくましい生徒

～入学・進級おめでとうございます～ 校長 鈴木 英 治

昇降口前の桜の花も満開となり、すがすがしい風が心地よい季節となりました。

お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。

青柳中学校2年目を迎えます。校長『鈴木 英治（すずき えいじ）』と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

子どもたちはそれぞれ1学年進級し、新たに142名の新入生を迎え、2年生174名、3年生189名、生徒総数505名で、新たな年度に向けてスタートしました。

わたしたち教職員は、保護者の皆様、地域の皆様とともに力を合わせ、『子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在』とし、皆様から信頼される学校を目指します。

中学校は、義務教育9年間の仕上げの3年間で、卒業後、社会でたくましく生きていくために必要なことを身に付けるところです。本校では、「**自ら考え学び続け、自分を大切にしながら他者を思いやる気持ちを持ち、たくましく生きる生徒の育成**」を目指し、学校教育目標を次のように設定しています。

学校教育目標 「**自ら考え実践する生徒（知）**」

「**心豊かで思いやりのある生徒（徳）**」

「**健康でたくましい生徒（体）**」

目指す学校像 「一人ひとりを大切にして信頼される学校」

目指す生徒像 「思いやりがあり、進んで学習する生徒」

目指す教職員像 「使命を自覚し、生徒一人ひとりのために最善を尽くす教職員」

この学校教育目標を実現するために、「幼保小中を一貫した教育」の継続をしながら、「学校運営協議会（コミュニティスクール）」を充実させ、これまで以上に、家庭や地域・学校が一体となって協力し合い、地域とともにある学校にしていきたいと考えています。

そして、家庭や地域に信頼される学校づくりを推進します。本校の学校教育へのご理解とご協力を是非ともお願い申し上げます。

＜青中情報コーナー＞ 教育職員の働き方改革

国では「教育職員の業務が長時間に及ぶ深刻な実態が明らかになっており、持続可能な学校教育の中で効果的な教育活動を行うため、学校における働き方改革が急務となっている。」との趣旨から、令和2年に公立学校の教育職員の業務量に係る指針を定めました。本校では8：20～16：50を勤務時間と定めていますが、令和5年3月には勤務時間外在校時間が1か月あたり45時間を超える教職員の割合が、約30パーセントとなっている現状があり、さらなる業務改善が課題となっています。勤務時間外在校時間1か月あたり45時間以内を守りながら、学校教育の質の維持向上を図ることというのは容易ではなく、重要な課題となっています。本校でも今後様々な業務改善を行っていく必要があります。保護者や地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

青柳中学校ホームページアドレス：<http://www.soka-stm.ed.jp/aoyagi-jh/>

